

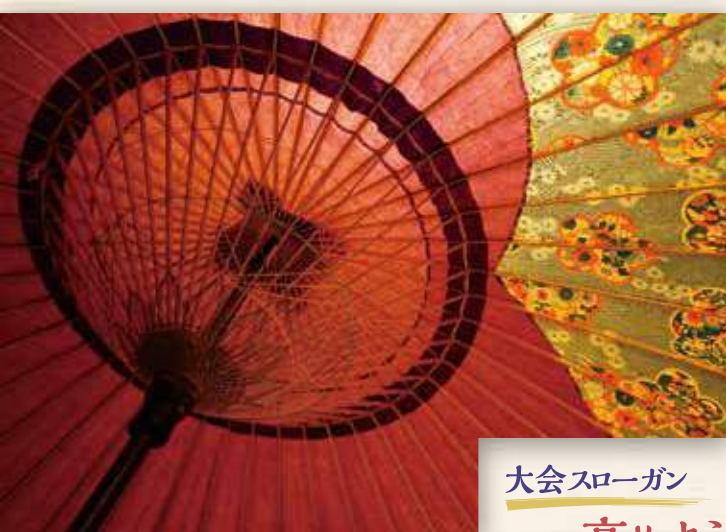
現地開催とオンライン配信を組み合わせたハイブリッド開催

第59回

全国建設業労働災害防止大会

2022年10月6日(木)・7日(金)

in 金沢



総合集会

10月6日(木)

開場 10:30 開会 13:15

いしかわ総合スポーツセンター

専門部会

10月7日(金)

開場 8:45 開会 9:00

石川県立音楽堂

ANAクラウンプラザホテル金沢

金沢市アートホール

大会スローガン

高めよう 一人ひとりの安全意識

みんなで目指そう リスクの低減

安全衛生保護具・測定機器・安全標識等

展示会

1日目 10月6日(木)
10:30～17:00

会場 いしかわ総合
スポーツセンター

Web展示 10月6日(木)～11月14日(月)

2日目 10月7日(金)
8:30～15:30

会場 もてなしドーム
地下イベント広場

同時開催
入場無料



- | | |
|---------------|---|
| 主 催 | 建設業労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会石川支部 |
| 開 催 主 協 力 支 部 | 建設業労働災害防止協会富山県支部、福井県支部、岐阜県支部、静岡県支部、愛知県支部、三重県支部、新潟県支部、長野県支部 |
| 後 援 | 厚生労働省、国土交通省、石川県、金沢市、石川労働局 |
| 賛 助 | 一般社団法人全国建設業協会、中央労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会 |
| 協 力 | 一般社団法人日本建設業連合会 |

シゲマツ

創業1917年

小顔の方にもぴったりフィット

保護めがね

LX-01



保護めがね

LX-02



株式会社 重松製作所
SHIGEMATSU WORKS CO., LTD.
www.sts-japan.com

本 社 〒114-0024 東京都北区西ヶ原1-26-1
TEL 03(6903)7525(代表)

LX 共通特長

防曇性能が高い

アイピース又はレンズには
強力な曇り止め加工。

UV400カット

400nmまでの紫外線を、
100%カット。



UV400 可視光線



Evo.123

軽さ。コンパクトさ。涼しさ。

劇的進化



新内装
「エアライトS」
サポートブロック
メカニズム搭載

詳しい製品情報は当社HP特設サイトへ



株式会社 谷沢製作所

〒104-0041 東京都中央区新富2-15-5 RBM築地ビル6F

TEL : 03-3552-5581 FAX : 03-3552-5576 E-mail : eigyo@tanizawa.co.jp www.tanizawa.co.jp



背面メッシュ付フルハーネス

MHF-1080

- 腰部のベルト交差部分がループ仕様で動きやすい!
- メッシュによる快適な装着性と、高い安全性を実現



Bluetooth 対応機種もラインアップ お気軽にお問合せください!

1. 小型 2. 軽量 3. 高性能センサ

**備えて安全、
身に着けて安心。**

Bluetooth は Bluetooth SIG Inc. の登録商標であり、理研計器株式会社は
ライセンスに基づき使用しています。



わずか 45g のウェアラブルガス検知器
Model GW-3 Series



連続使用時間 最長 9,000 時間!
Model 04 Series



Bluetooth 対応! 5 成分を同時検知!
Model GX-3R Pro

理研計器株式会社

<https://www.rikenkeiki.co.jp/> 本社 〒174-8744 東京都板橋区小豆沢 2-7-6 TEL 0570-001939 (代)



総合集会プログラム

ライブ配信・オンデマンド配信
一部配信なし

初日 10月6日(木) いしかわ総合スポーツセンター(メインアリーナ)

10:30	開 場	
11:00	石川県・金沢市観光映像	
12:15	アトラクション	御陣乗太鼓 金沢素囃子
13:15	開 会	
	黙 祷	
	挨 拶	建設業労働災害防止協会 会長
	来 賓 挨 拶	厚 生 労 働 大 臣 国 土 交 通 大 臣 石 川 県 知 事 金 沢 市 長
	歓迎のこたば	大会実行委員長 建設業労働災害防止協会 石川支部長
13:50	安全衛生功労者に対する表彰・顕彰基金による顕彰	
14:10	安全の誓い	大会副実行委員長
14:15	講 演	「労働安全衛生行政の動向について」(仮題) 厚生労働省 労働基準局
14:35	アトラクション	学校法人金城学園 遊学館高等学校 バトントワリング部
15:00	休 憩	
15:20	講 演	「こころと心を繋ぐ コミュニケーション術」 精神科医 名越康文
16:30	閉 会	

※プログラムは一部変更になる場合があります。



オンライン開催



プログラム		開催方法	
		オンライン開催	
		ライブ配信	オンデマンド配信
総合集会	式 典	10/6(木)	10/11(火)～11/14(月)
	名越氏講演		10/11(火)～10/24(月)
専門部会	研究発表等	×	10/11(火)～11/14(月)
	井田氏講演		×
安全衛生保護員等 Web 展示会		10/6(木)～11/14(月)	

※1 一部現地開催のみのプログラムもあります。

※2 現地で参加される方もオンライン開催に参加可能です。(現地で参加される方はオンライン参加のお申込みは不要です)

※3 詳細は順次情報を更新しておりますので、建災防ホームページをご確認ください。

※4 オンデマンド配信については一部変更になることもあります。

参加者の皆様へ

○受付について

当日の受付(両日)については「現地での受付方法のご案内(18頁)」をご確認ください。

初日に受付を済まされた方も2日目の専門部会にご参加される際には必ず受付をお済ませのうえ、ご入場ください。

初日 いしかわ総合スポーツセンター内(10時30分～)

2日目 JR金沢駅兼六園口(東口)もてなしドーム地下イベント広場(8時30分～)

○CPDS(継続学習制度)について

(一社)全国土木施工管理技士会連合会のCPDS(継続学習制度)のユニットが、本大会の専門部会(2日目)を聴講することにより、取得できます。ユニット対象は『研究発表』『講話・講演』(最大3ユニット)です。専門部会会場で、「受講証明書」を配布いたします。

ユニットの申請は、各自で(一社)全国土木施工管理技士会連合会へ申請してください。

(一社)全国土木施工管理技士会連合会ホームページ：<https://www.ejcm.or.jp>

○会場について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各会場の収容人数に限りがあります。

○昼食について

初日は会場内での飲食は可能で、会場内にてお弁当販売を行います。(事前注文受付予定)

2日目は一部会場を除き、会場内での飲食は可能です。

○個人情報について

個人情報は本大会参加者の把握にのみ利用し、それ以外では利用いたしません。

なお、万一、新型コロナウイルス感染者が発生した場合の拡大防止のため、政府機関・自治体から情報提供を求められた場合には、個人情報の取り扱いに十分注意しつつ、必要に応じて参加者の情報を提供する場合がありますので、ご了承ください。

○新型コロナウイルス感染症対策について

国や石川県、金沢市、各会場の新型コロナウイルス感染拡大防止対策に準拠した運営を行います。

※新型コロナウイルス感染状況により変更等の可能性もありますので、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

講演者紹介



「こころと心を繋ぐ コミュニケーション術」

精神科医 な こ し や す ふ み 名越 康文 氏

1960年、奈良県生まれ。専門は思春期精神医学、精神療法。近畿大学医学部卒業。

臨床に携わる一方で、テレビ・ラジオでコメンテーター、映画評論、漫画分析など様々な分野で活躍中。



「大雨や暑さから身を守るための気象講座」

気象予報士・キャスター い だ ひ ろ こ 井田 寛子 氏

筑波大学第一学群自然科学類化学科卒業(宇宙化学研究室)後、製薬会社を経てNHK・TBS等メディアを中心に活動。2014年ニューヨークで開かれた国連気候サミットへの参加をきっかけに気候変動問題について学び、発信を続ける。「難しいことを分かりやすく」伝えることにこだわりを持つ。現在NPO気象キャスターネットワーク副理事長・WWFジャパン顧問・東京大学生産技術研究所協力研究員。環境・体・食の3つのバランスの大切さを感じたことから、全米ヨガアライアンスインストラクターや野菜ソムリエを取得。

専門部会プログラム

オンデマンド配信
10/11～11/14

2日目 10月7日(金) 石川県立音楽堂、ANAクラウンプラザホテル金沢、金沢市アートホール

	建築部会 石川県立音楽堂(音楽ホール)	土木部会 ANAクラウンプラザホテル(風)	安全衛生教育部会 石川県立音楽堂(コンサートホール)	低層住宅部会 ANAクラウンプラザホテル(風)	ICT部会 石川県立音楽堂(交流ホール)	メンタルヘルス部会 金沢市アートホール	コスモス部会 ANAクラウンプラザホテル(風)
8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45	開場 8:45
9:00	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)	開会挨拶 9:00～9:10(10分)
9:10	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	講話 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)	発表① 9:10～9:30(20分)
9:15	清水建設 北陸支店	戸田建設 大阪支店	厚生労働省 建設安全対策室	旭化成ホームズ(株)	鹿島建設 北陸支店	株竹中工務店 神戸支店	松本建設
9:20	解体工事における災害防止	山岳トンネル工事における安全性向上と快適職場づくり	建設業における墜落・転落災害防止対策の充実に向けて	A-Skil(エススキル)「旭化成・施工計画 iPad_line」の開発	ICT技術の導入による安全管理の取り組み	コミュニケーションを基にした生産性向上と災害発生リスク低減への取組み	COHSMSを活用した安全衛生管理への転換
9:25							
9:30	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)	発表② 9:30～9:50(20分)
9:35	三井住友建設 横浜支店	俵興村組	前田建設工業 北陸支店	大和ハウス工業(株)	三機工業(株)	大成建設 東京支店	東急建設
9:40	移動式足場による安全性の向上と作業効率の改善について	大深度・長距離シールド施工における安全対策	建設現場における安全管理事例	統合カメラ管理システム「D-Camera」による安全管理	労務安全書類のピンチをチャンスに	誰もが安心して働ける快適な職場環境についての取組み	安全衛生水準向上の意識改革を目的としたシステム教育強化の取組
9:45							
9:50	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)	発表③ 9:50～10:10(20分)
9:55	清水建設	俵大林組 大阪本店	矢作建設工業(株)	低住協 じゅうたく小町部会	戸田建設 九州支店	鹿島建設 関西支店	俵熊谷組 中四国支店
10:00	効率化が生む安全	大規模新幹線建設工事における安全衛生管理	一人ひとりが主役になれる理想の現場風土の創り方	住宅現場における、手洗設備設置の効果と仕様の提案について	BIMを活用した労働環境整備のフロントローディング	作業員が安全に安心して働ける魅力ある現場環境を目指して	多職種・広範囲な現場のマネジメントと安全管理
10:05							
10:10	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)	休憩 10:10～10:20(10分)
10:15							
10:20	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)	発表④ 10:20～10:40(20分)
10:25	仙建工業 盛岡支店	大成建設 東北支店	鹿島建設 東北支店	清水建設 東京支店	俵興村組 西日本支店	日本無線 開発	日本無線
10:30	全長420mの仮設計画	地下50mの高水圧下におけるシールド機と土質の安全対策	転倒等リスク評価セルフチェックのすすめ	『魅せる現場』の「見える安全」	BIM・ICTを活用した工事管理	無記名ストレスチェックと新ヒヤリハット報告の両方について	日本無線の建設業における安全衛生水準向上への取組み
10:35							
10:40	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)	発表⑤ 10:40～11:00(20分)
10:45	株横河ブリッジ	前田建設工業 北陸支店	株高田組	住友林業(株)	株吉光組	東急建設 東日本土木支店	砺波工業(株)
10:50	橋脚ゲートアウト側端部作業の安全性向上と省力化	高速道路リニューアル工事における安全対策の取り組みについて	持続可能な「地域の守り手」を目指して	熱中症災害撲滅に向けて	デジタル技術を利用した安全対策の取組み	新ヒヤリハット報告導入による改善経過	COHSMSの取組事例について
10:55							
11:00	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)	発表⑥ 11:00～11:20(20分)
11:05	飛鳥建設 首都圏建築支店	鹿島建設 四国支店	清水建設	大和ハウス工業 関東地区協力会	大成建設 札幌支店	建災防 山梨県支部	五洋建設
11:10	改修庁舎を足場で覆わず「家な姿勢で落下物なく」外装サツを更新	松山自動車道 双海橋工事の安全衛生管理活動	KY活動とヒヤリハットを活用した現場全体の安全意識向上の工夫	低層住宅における現場災害防止と環境問題の取り組みについて	市街地における大規模再開発建設工事の安全管理に関する報告	新ヒヤリハット報告を活用した新たな視点による山梨県支部の取組み	コスモス運用における若手職員育成への取組み
11:15							
11:20	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)	休憩 11:20～11:30(10分)
11:25							
11:30	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)	発表⑦ 11:30～11:50(20分)
11:35	兼六建設	鉄建建設 東京鉄道支店	アキタ建設	ミドリ安全(株)	戸田建設 東北支店	東急ジオックス(株)	東レ建設
11:40	復元工事における安全設備の工夫と観光名所の第三者災害対策	創意工夫で考案した安全器具「巻かめ棒」の紹介	外国人建設就労者の「完全能力化」に向けた専門工事業者のチャレンジ	低層住宅における現場災害防止と環境問題の取り組みについて	下管架設工事の安全対策について	代表取締役社長 舘訪 嘉彦	東レ建設が築いたT-OHSMSを軸とした安全衛生活動の実績
11:45							
11:50	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	講話 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)	発表⑧ 11:50～12:10(20分)
11:55	美保鉄筋(株)	飛鳥建設 首都圏土木支店	熊栄協力会	厚生労働省 石川労働局	清水建設 広島支店	建設業におけるメンタルヘルス対策の普及と定着に向けて	閉会挨拶 11:40～11:45(5分)
12:00	鉄筋工事における現場加工場と先組ユニット工法の融合	安全は、本質的対策の実施から！	熊栄(ゆうえい)協会の取組み	石川県の建設業における労働災害の現状	機械化による安全性向上		
12:05							
12:10	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	(昼休) 12:10～13:00(50分)	※参加は事前に登録されたコスモス認定事業場に限ります。
12:20	DVD 上映	DVD 上映	DVD 上映	DVD 上映	DVD 上映	DVD 上映	昼食
12:30							
12:40							
12:50							
13:00	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	講話 13:00～13:40(40分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)	発表⑨ 13:00～13:20(20分)
13:05	東急建設 都市開発支店	清水建設 関西支店	五洋建設	建災防 技術管理部	国土交通省 総合政策局	大和ハウス工業(株)	新ヒヤリハット報告を活用した災害撲滅への取組み
13:10	第三者災害防止を徹底した現場運営について	都市土木工事における安全衛生管理活動	リモートによる安全教育研修の工夫事例	安全管理士が行う安全衛生支援業務について	公共事業企画調整課 施工安全企画室長 森川 博博	建設現場のDXに向けた国土交通省の取り組み	
13:15							
13:20	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)	発表⑩ 13:20～13:40(20分)
13:25	三井住友建設 東京建築支店	鹿島建設 東北支店	第一電機工業(株)	大阪住宅安全衛生協議会	建設現場のDXに向けた国土交通省の取り組み	日本「働きやすく安全」な作業環境に向けた取り組み	「 コスモス認定事業場 カリキュラム」
13:30	超高層マンション工事(Pca工法)の安全管理と働き方改革	人と機械の混在作業を防止するための改善事例	元請と協力会社が二人三脚で進める安全衛生管理活動	設立25年を振り返り、新時代(DX化)への道			＜検討課題＞
13:35							① 12:30～12:35(5分)
13:40	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	講話 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	発表⑪ 13:40～14:00(20分)	開会挨拶
13:45	清水建設 北陸支店	国土交通省 建設市場整備課 建設行政をめぐる最近の話題	松井建設	株イノベックス・大和ハウス工業(株)	真柄建設	株竹中工務店	② 12:35～12:45(10分)
13:50	ドーム吹抜空間仕上工事の仮設計画		オール松井によるMSHの推進！！	小規模現場における熱中症対策のための効果的な休養所の取組みについて	ICT活用で変わる現場の安全管理	作業所・協力会社・内勤部門三位一体になっている安全管理	討議テーマ及び討議要領説明
13:55							③ 12:45～13:55(70分)
14:00	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	休憩 14:00～14:10(10分)	班別討議等
14:05							
14:10	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	発表⑫ 14:10～14:30(20分)	＜討議テーマ＞
14:15	俵熊谷組 北陸支店	東急建設 東日本土木支店	戸田建設 千葉支店	株ダイサン	清水建設 土木東京支店	株松本組	「コスモスにおけるCとAを考える」
14:20	墜落災害の防止に準拠した土法選定及び各種課題について	土壌シールド工事の安全対策	QRコード×Googleフォームを活用したヒューマンエラーの予防と指導	住宅足場工事事業を継続するために	遠隔管理システムを活用したリモート型安全管理	現場環境改善と気づきの時間	～3Dシミュレーションを目指して～
14:25							④ 14:25～14:30(5分)
14:30	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	発表⑬ 14:30～14:50(20分)	開会挨拶
14:35	鹿島建設 東北支店	俵興村組 西日本支店	大鉄工業(株) 北陸支店	低住協 安全パトロール部会 青年部会	三井住友建設 四国支店	建災防 石川支部 講師	
14:40	安全管理活動の「見える化」活動事例	交通事故防止の取り組み	大鉄 KYT の取組みについて	安全管理 DX化による現場巡視問題の解決策について	トンネル工事におけるデジタルツールを活用した安全対策	ヒヤリハット報告の現状	
14:45							
14:50	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	発表⑭ 14:50～15:10(20分)	
14:55	株竹中工務店 神戸支店	戸田建設 大阪支店	東急建設	積水ハウス(株)	大成建設	清水建設 東北支店	
15:00	作業員の平定化及び人化による生産性向上と災害発生リスク低減への取組み	作業手順にフェールセーフを取り込み労働災害を防止する	「実行・計画＝1」の実現に向けて！	内部足場の安全施工基準全国展開	被災地におけるデジタルサインを活用した安全管理	作業員の健康管理と新しい現場運営方法について	
15:05							
15:10	開会挨拶 15:10～15:15(5分)	開会挨拶 15:10～15:15(5分)	開会挨拶 15:10～15:15(5分)	開会挨拶 15:10～15:15(5分)	開会挨拶 15:10～15:15(5分)	開会挨拶 15:10～15:15(5分)	
15:15							
15:20	休憩 15:15～15:30(15分)	休憩 15:15～15:30(15分)	休憩 15:15～15:30(15分)	休憩 15:15～15:30(15分)	休憩 15:15～15:30(15分)	休憩 15:15～15:30(15分)	
15:25							
15:30	講演 15:30～16:30(60分)						
16:30	気象予報士・キャスター 井田 寛子 「大雨や暑さから身を守るための気象講座」(オンデマンド配信除く)						

研究発表 講話

8:45～ 開 場

9:00～9:10 開会挨拶 部会長 榊大林組 安全本部 建築安全管理室兼土木安全管理室 部長 井上 聖

9:10～9:30 発表① 解体工事における災害防止 一作業所みんなで安全管理一
(20分) 清水建設㈱ 北陸支店 建築部 工事長 佐藤 彰

地上9階、塔屋4階、地下1階の事務所ビルの解体工事において第3者災害の防止、地下解体における周辺への影響を最小限にすることを最重要課題と位置付け安全管理を行った。

9:30～9:50 発表② 移動式足場による安全性の向上と作業効率の改善について
(20分) 一大空間急勾配建築における鉄骨建て方、屋根葺き工事の取組み一
三井住友建設㈱ 横浜支店 国際埠頭作業所 副所長 秦 宏紀

今回報告する貯炭場建築は約15万トンをストックする大規模屋内空間であり、構造は斜めトラス鉄骨、屋根は41度の急勾配屋根である。この建物において各種移動式足場を用いて安全性の向上と作業効率の改善を実現するための取り組みについて報告する。

9:50～10:10 発表③ 効率化が生む安全 一ICT技術を駆使した「安全意識」の向上一
(20分) 清水建設㈱ 建築総本部 建築企画室 品質管理部 生産監査グループ 主査 藤岡 裕彦

現場で掲げた現場運営方針である「ICT技術を駆使した作業の効率化を推進することで、生産性の向上につなげる」ことにより、現場で働く人に余裕が生まれ、より安全に作業ができる。それを実現するためのICT技術を駆使した取り組みを紹介する。

10:10～10:20 休 憩

10:20～10:40 発表④ 全長420mの仮設計画
(20分) 仙建工業㈱ 盛岡支店 盛岡建築出張所 副所長 藤原 克彰

本工事は、東北新幹線盛岡駅の屋根・外壁改良他、全長420mにわたる大規模改修工事である。営業線近接及び駅舎の現場のため、揚重箇所の限定や線路上空作業等の課題があった。その中で、仮設計画の考案・検討のうえ実施し、安全性と作業性の向上に努めた。

10:40～11:00 発表⑤ 横濱ゲートタワー外周端部作業の安全性向上と省力化
(20分) 一安全で美しい現場を目指して一
㈱横河ブリッジ 建築事業部 工事部 工事第一課 主査 勝又 啓雄

本稿は(仮称)横濱ゲートタワープロジェクト建設工事の超高層ビルにおいて、現場所長方針を受けた題名のテーマを掲げ、飛来落下災害および墜落災害の撲滅をするために取り組んだ、鉄骨建方時の外部養生ユニットと床端部PC施工による安全性向上と省力化を実現した事例を紹介する。

11:00～11:20 発表⑥ 改修庁舎を足場で覆わず「楽な姿勢で落下物なく」外壁サッシを更新
(20分) 一移動昇降式足場で建物利用者の眺望と採光を確保し
外部経由の侵入が不可能となり防犯にも貢献した一

飛鳥建設㈱ 首都圏建築支店 衆議院第二別館改修作業所 所長 弓家 卓郎

衆議院第二別館の3～9階に設置された外壁アルミ建具を更新する工事において、常時利用者が室内にいる状況での工事を行うにあたり、騒音・採光など利用者の環境影響を最小限に抑え、作業時の墜落・飛来落下物災害リスクを低減するため移動昇降式足場に変更し施工を行った。

11:20～11:30 休 憩

11:30～11:50 発表⑦ 復元工事における安全設備の工夫と観光名所での第三者災害対策
(20分) 一新しい技術の導入でなくチョットした工夫で出来る事一
兼六建設㈱ 建築部 工事課 課長 津田 幸大

鼠多門建設工事が観光施設に隣接した場所である為、第三者に対する安全確保と工事の特性上行った工法の紹介。
・建築物を保護するために仮設素屋根の設置
・重量物資材の移動
・第三者にみてもらうために見学スペースの設置
以上の内容を紹介いたします。

11:50～12:10 (20分)	発表 ⑧	鉄筋工事における現場加工場と先組ユニット工法の融合 ー安全性・生産性の向上と多様な働き方を目指してー 美保鉄筋(株) 代表取締役専務 佐藤 大樹
大規模配送センター工事の鉄筋工事において、「短工期」かつ「狭隘」といった制約条件を克服しながら、「安全性と生産性の向上と両立」及び「合理的な組立て」を課題に掲げ検討・計画・実施することで、「上下作業・高所作業・鉄筋の人力運搬(横持ち)の低減」により安全施工も実現して、無災害で工事を終えることができた。また、専用ヤードという「安全な場所」で施工を可能にしたことで、高齢者・女性だけでなく外国人も安心・安全に働ける職場環境を作り上げた。		
12:10～13:00	昼 休	DVD上映(予定)
13:00～13:20 (20分)	発表 ⑨	第三者災害防止を徹底した現場運営について ー鉄道運行を阻害させない作業、およびバスロータリー上部での作業計画ー 東急建設(株) 都市開発支店 鉄道建築部 工事部長 奥津 敏明
当工事は駅舎改良も含め東急線沿線で最大級の改良工事である。東急池上線の鉄道運行を阻害させない事やバスロータリー上部での作業があり、様々な制約がある中で行われた工事である。この論文では第三者災害防止を徹底した現場運営の工夫について報告する。		
13:20～13:40 (20分)	発表 ⑩	超高層マンション工事(Pca工法)の安全管理と働き方改革 ータワークレーン運転支援システムと時代が求める働く環境づくりー 三井住友建設(株) 東京建築支店 聖蹟桜ヶ丘プロジェクトA敷地作業所 作業所長 山口 正和
タワークレーンの運転支援システムとデジタル化の活用を行い、より良い安全衛生活動の展開を図る中で、創意工夫に取組みながら、作業員の安全意識を高め、生産性を考え、労働時間のあり方を考え、働き改革に取組む活動です。		
13:40～14:00 (20分)	発表 ⑪	ドーム吹抜空間仕上工事の仮設計画 ー安全性向上と生産性向上および工期短縮の両立ー 清水建設(株) 北陸支店 建築部 工事長 林 克也
二つの半円形の段状床ドームが合わさった吹抜空間の天井仕上工事を施工するにあたり、組立解体作業および仕上工作業の作業安全性と生産性を向上し、その下部の工事も同時進行することができる吊り足場の工夫改善を行った。		
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑫	墜落災害の防止に準拠した工法選定及び各種課題について ー無足場工法と梁鉄筋先組み工法の採用及び各種課題への取組ー (株)熊谷組 北陸支店 建築部 金沢武蔵南作業所 所長 河村 隆彰
建設業で死亡・死傷災害が最も多い墜落災害を題材に、墜落災害の防止最優先の観点から安全の本質を見据え、墜落災害の現状と無足場工法及び梁鉄筋の先組み工法の採用を中心に記載した。また、各作業に対する課題を抽出し、課題に対する対策も併せて述べたものである。		
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑬	安全管理活動の「見える化」活動事例 ー誰でも分かり易くを心掛けるー 鹿島建設(株) 東北支店 次世代放射光施設基本建屋新築JV工事事務所 副所長 志村 英典
東北大学青葉山キャンパス内に建設中の次世代放射光施設建設工事において取り組みを行った安全管理活動事例。多数の協力会社・入場作業員に対し、如何に情報を分かり易く伝え、ルールを徹底させるか「見える化」をテーマに、実行した安全施工サイクルでの取組および安全教育の取組の実例を紹介。		
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑭	作業員の平準化及び省人化による生産性向上と災害発生リスク低減への取り組み ーSDGsの取り組みを含めた安全管理活動ー (株)竹中工務店 神戸支店 中山視覚障害者福祉財団 中山記念会館新築工事 工事担当 山室 広樹
慢性的な労務職不足の中、作業員の平準化及び省人化を図る施策を行い、SDGsの観点から作業所環境を見直すことで災害発生リスク低減に取り組んだ。付加価値とし、WLBの確保や生産性向上、安全管理について大きなメリットにもつながり、全工期無事故無災害を達成することが出来た。		
15:10～15:15	閉会挨拶	副部会長 (株)熊谷組 北陸支店 安全品質環境部 担当部長 関口 秀治
15:15～15:30	休 憩	
15:30～16:30	講演	大雨や暑さから身を守るための気象講座 [※] 気象予報士・キャスター 井田 寛子

※井田氏の講演は安全衛生教育部会会場(石川県立音楽堂(コンサートホール))で行います。

8:45～ 開 場

9:00～9:10 開会挨拶 部会長 鹿島建設(株) 安全環境部長 部長 本多 敦郎

9:10～9:30 発表① **山岳トンネル工事における安全性向上と快適職場づくり**
(20分) **—原松原線トンネル作業所における取組み—**

戸田建設(株) 大阪支店 土木工事部工事2室 工事主任 古屋 諒

本トンネルは市街地と近接した閑静な丘陵地での施工であり、直上には営業中のゴルフ場・遊技施設が存在し、事業計画時から環境面に配慮した施工計画の結果、爆薬が使用できず、また両坑口ともに小土被り区間の延長が長いことから、長期間にわたって地表面への影響を考慮し、重機接触災害のリスク低減対策を講じ、坑内環境の改善による安全で快適な作業環境の整備を進めた。

9:30～9:50 発表② **大深度・長距離シールド施工における安全対策**
(20分) (株)奥村組 東京土木第1部 千代田幹線工事所 所長 西沢 武司

到達まで約4年間の長期間に及ぶ大深度・長距離シールド施工における安全対策を、「特異性(大深度・長距離)を考慮した設備計画」と作業サイクルがほぼ一定であるシールド掘進工の「長期間同作業におけるマンネリ化防止対策」の2つの観点で記述する。

9:50～10:10 発表③ **大規模新幹線橋梁建設工事における安全衛生管理**
(20分) **—竹田川橋りょう建設工事での安全の取組み—**

(株)大林組 大阪本店 大林・大本・道端特定建設共同企業体 竹田川橋りょうJV工事事務所 所長 向井 哲郎

北陸新幹線金沢～敦賀延伸区間のうち、竹田川橋りょう建設工事での安全衛生管理の取組みについて記載した。竹田川橋りょうは延長1638mの橋梁上下部工事です。ニューマチックケーソン工事やPC上部工など安全管理が難しい工種において、様々な工夫により全工期無災害を達成し、竣工しました。

10:10～10:20 休 憩

10:20～10:40 発表④ **地下50mの高水圧下におけるシールド機ビット交換の安全対策**
(20分) **—特殊添加剤を使用したリスク期間の短縮化及び凍土人力掘削時の崩落防護対策—**

大成建設(株) 東北支店 土木部 課長 山崎 秀之

本工事は、名古屋市西区天神山町の押切公園の発達立坑から、名古屋市中川区の山王一丁目の到達立坑までの延長約5,000m、仕上り内径5,750mm、土被45m～49m、貯留量104,000m³となる市内最大規模の雨水貯留管であり、泥土圧式シールド工法で構築する。本稿は、硬く締まった地盤を掘進することですり減ってしまうシールド機のビットについて地下50m、凍結環境化という特殊条件でのビット交換作業の安全対策として「交換期間の短縮化」及び「凍土の人力掘削による崩落防護対策」について記述したものである。

10:40～11:00 発表⑤ **高速道路リニューアル工事における安全対策の取組みについて**
(20分) 前田建設工業(株) 北陸支店 今庄・武生高架橋作業所 副所長 平野 貴也

当工事は、高速道路のリニューアル工事として、老朽化した橋梁のコンクリート床版を新しい床版に取り換える工事となる。安全対策の主な取り組みとして、①吊り架台による床版架設、②吊り荷制御装置の使用、③ICT技術の活用、④その他を行い、安全かつ円滑に工事を進める事ができた。

11:00～11:20 発表⑥ **松山自動車道 双海橋工事の安全衛生管理活動**
(20分) **—「計画段階での問題解決」「日常作業の安全対策」「情報共有の徹底」への取組み—**

鹿島建設(株) 四国支店 双海橋JV工事事務所 所長 織田 一郎

松山自動車道の双海橋二期線を建設する工事における安全衛生活動として、以下の取り組み事例を報告する。

- ・CIMを活用した計画段階での安全上の重大な問題の解決
- ・ICTツールも活用した日常作業における危険の見える化
- ・ICTツールを活用した工事関係者の情報共有の徹底

11:20～11:30 休 憩

11:30～11:50 発表⑦ **創意工夫で考案した安全器具「巻かれん棒」の紹介**
(20分) **—探針ドリルに巻き込まれる労働災害を無くすために—**

鉄建建設(株) 東京鉄道支店 鉄道安全部長 布施 尚行

当社が得意とする鉄道工事において、施工前の事前調査は必要不可欠である。その調査方法の一つに探針ドリルを使った地中探査方法があるが、この回転部に巻き込まれる労働災害が時々発生することから、この事故を無くすために作業員、協力会社の意見を取り入れて独自に安全器具を開発したので、その経緯と施工事例を紹介する。

11:50～12:10 (20分)	発表 ⑧	安全は、本質的対策の実施から！ —スリーステップ・メソッドを有効活用した安全管理について— 飛鳥建設(株) 首都圏土木支店 中和田シールド作業所 所長 岡田 真幸 給水所の新設工事である。主にポンプ棟や配水池構築時に安全の本質的対策を実施し、根本的なリスクを廃除してより安全な状況下で作業に臨んだ。また、構築工事ならではのコンクリート打設時の全体周知や近年増加傾向にある外国人労働者と協働するための工夫について一例を紹介する。
12:10～13:00	休 息	DVD上映 (予定)
13:00～13:20 (20分)	発表 ⑨	都市土木工事における安全衛生管理活動 —近隣住民への配慮、見える化・行動災害・ICTを意識した安全管理設備— 清水建設(株) 関西支店 土木第二部 工事長 荒木 涼史 どのような都市土木工事においても直面する安全管理活動における課題である、近隣住民対策、インフラ損傷防止対策、行動災害防止対策、公衆災害防止対策について、当現場で取り組んでいる見える化を意識した事例や、ICT活用を意識した安全管理について。
13:20～13:40 (20分)	発表 ⑩	人と機械の混在作業を防ぐための改善事例 —死亡災害に直結する重機災害の撲滅— 鹿島建設(株) 東北支店 成瀬ダム堤体打設JV工事事務所 工事第2グループ長 上本 勝広 成瀬ダムは台形CSGダム型式のダムですが、当型式のダムはCSG打設箇所において人と機械の混在作業が多く、また、当現場ではブルドーザ、振動ローラー、重ダンプ(2023年度から)の自動化施工による堤体打設を行っているため、死亡災害に直結する重機災害防止を撲滅することが課題でした。そこで、「死亡災害は絶対に出さない!」をスローガンとして様々な改善に取り組みました。以下にこれらの取り組みについて紹介します。
13:40～14:00 (20分)	講 話	建設行政をめぐる最近の話題 国土交通省 不動産・建設経済局 建設市場整備課 専門工事業・建設関連業振興室長 坂井 志保 建設業の現状や課題等について、最近のデータを用いて解説するとともに、それに対する国土交通省の取組を、最新の検討状況を含め紹介する。
14:00～14:10	休 息	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑪	厳しい施工条件下での泥土圧シールド工事の安全対策 —難易度の高い超軟弱地盤下での安全管理— 東急建設(株) 東日本土木支店 土木部 京島幹線作業所 所長 櫻井 努 施工箇所は、海拔ゼロメートル地帯、N値0の超軟弱地盤、そして低土被り、また重要構造物と近接するという厳しい施工条件の中、超軟弱地盤での安全施工管理、鉄道営業線横断部の対策、超急曲線施工についての対策を検討しました。シールド掘進中は、想定外の地中障害物にも打ち当たり、度々掘進が停止するという難易度の高い掘進管理が必要でしたが、その都度適切な作業手順の検討会を実施、現場での周知会開催を徹底しました。これらの対策・管理を実践することにより安全性が向上し、無災害で竣工したことについて報告いたします。
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑫	交通事故防止の取り組み —ダンプの安全運行に向けた工夫— (株)奥村組 西日本支社 関西土木第2部 新名神美濃山中JV工事所 工務主任 豊田 大 土砂の場外搬出は、公道でダンプトラックを走行するため、交通事故リスクは避けられない。一方、ダンプトラックでの交通事故は、重篤な公衆災害に繋がるリスクが大きく、交通事故防止に対する取り組みが肝要であるため、その取り組みについて紹介する。
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑬	作業手順にフェールセーフを取り込み労働災害を防止する —宇治田原トンネル東作業所における取組み— 戸田建設(株) 大阪支店 土木工事部工事2室 工事主任 宮野 友輔 新名神高速道路は、国土交通大臣が指定する「重要物流道路」とされており、国が絡む重要かつ大規模なプロジェクトである。様々な工種が同時期に広範囲で施工しており、現場内は多くの協力会社が輻輳している。このような状況下での課題は、各協力会社が安全かつ円滑に作業を進捗できるような環境整備であり、日々、取り組んでいる労働災害防止活動の創意・工夫について紹介する。
15:10～15:15	閉会挨拶	副部会長 真柄建設(株) 施工・品質管理部 工事安全課長 島 直人
15:15～15:30	休 息	
15:30～16:30	講 演	大雨や暑さから身を守るための気象講座※ 気象予報士・キャスター 井田 寛子

※井田氏の講演は安全衛生教育部会会場(石川県立音楽堂(コンサートホール))で行います。

8:45～ 開 場

9:00～9:10 開会挨拶 部会長 戸田建設(株) コーポレート本部 安全管理統轄部 安全管理3部部長 小澤 重雄

9:10～9:30 講 話 **建設業における墜落・転落災害防止対策の充実に向け**
(20分) 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 安全課 建設安全対策室長 土井 智史

本年は、建設職人基本法に基づく基本計画が策定されて5年となる。
厚生労働省では、同計画の見直しも視野に入れ、建設業における墜落・転落災害防止対策の検討を行ってきており、今後の対策の方向性等について説明する。

9:30～9:50 発 表 ① **建設現場における安全管理事例**
(20分) **―全員参加型の安全管理とコミュニケーションの活性化―**

前田建設工業(株) 北陸支店 富山県防災・危機管理センター作業所 所長 遠藤 憲明

建設現場における安全管理事例の内容です。いろんな社会課題の解決のため、現場の職員及び作業員と一緒に、工夫しながら全員参加型の安全管理を行っています。安全かつ生産性を向上させ、みんなが働きやすい職場づくりに寄与できるよう努めています。

9:50～10:10 発 表 ② **一人ひとりが主役になれる理想の現場風土の創り方**
(20分) **―オンライン安全塾 新たな仕組みと仕掛けで現場の安全レベルを底上げする―**
矢作建設工業(株) 安全環境部 部長 紀伊 保

所属の違う大勢の職人さんが集まる建設現場で、教育によって安全管理レベルの向上を図ることは極めて難しい。そこで、当社ではさまざまな手法、仕組み、そして何よりも熱い思いを込めて安全教育のレベルアップを図ってきた。本論文では、その代表的な事例を紹介する。

10:10～10:20 休 憩

10:20～10:40 発 表 ③ **転倒等リスク評価セルフチェックのすすめ ―転倒災害ゼロを目指して―**
(20分) 鹿島建設(株) 東北支店 (青森)むつ小川原統括事務所 工事課長 下田 健

近年、青森県等で多く発生している「転倒」等の災害リスクに備え、現場で働く方々の自己認識や身体機能等について、「転倒等リスク評価セルフチェック票」を用いて測定・確認した事例や、災害防止に向けた取り組みを紹介するものである。

10:40～11:00 発 表 ④ **持続可能な「地域の守り手」を目指して**
(20分) **―地域に根づく中小建設企業の安全への取り組み―**
(株)高田組 工務部 次長 米原 史朗

近年多発する自然災害から社会生活の安全を確保するために、「地域の守り手」として地元で根づく中小建設企業が期待に応えていくには企業を存続させていくことが重要となる。そのためには、従来からの安全管理を見直すことや新たな課題などについて考えていく。

11:00～11:20 発 表 ⑤ **KY活動とヒヤリハット活動を活用した現場全体の安全意識の向上の工夫**
(20分) **―安全が習慣になるまでの取組―**

清水建設(株) 土木総本部 土木技術本部 地下空間統括部 主査 荒井 匠

ヒヤリハット活動を効果的な活動として定着させ、KY活動に生かせる仕組みを考え、改善をはかっていくことで、現場全体として一体となって安全意識の向上を図り、安全がルールでなく、習慣として身につくように取り組んだ事例である。

11:20～11:30 休 憩

11:30～11:50 発 表 ⑥ **外国人建設就労者の「完全戦力化」に向けた専門工事業者のチャレンジ**
(20分) **―外国人技能実習生・高度人材の採用・育成の留意点―**

アキタ建設(株) TRUONG VAN KY
(チュン バン キイ)

当社では、海外の建設系大学を修了した「高度人材」を建設技術者として採用・育成してきており、数年で大手ゼネコンの工事に従事する十分なスキルと経験を習得している。「外国人技能実習生」を採用する専門工事業者は、言葉や国民性の点で育成に難儀しているが、当社では「高度人材」を活用して、日本人とだけでなく、「外国人技能実習生」との連携を緊密にすることで、より安全でスムーズな現場運営を実現している。次のステップとして外国人を「建設業法上の『主任技術者』として選任」する要件の「大臣認定」を取得できた。

11:50～12:10	発表 ⑦	熊谷組協会組織 熊栄（ゆうえい）協会の取組み 一 プロの技の継承を目指して一 熊栄協会 会長 齋藤 隆 (共栄機械工務) 代表取締役社長)
(20分) (熊栄組の協会で組織される「熊栄（ゆうえい）協会」は、現在、全国862社が熊栄組のパートナー企業群として共に活動しています。本会は、1971年に多発する重大災害を防ぎ、現場の安全を守ろうと専門工事業者が集まって自主的に結成されました。以来、熊栄組と共にプロの技の継承を目指して、「安全・品質・環境 信頼勝ち取るプロの技 一致団結のづくり」のスローガンのもと専門工事業者目線に大切に活動が続けています。		
12:10～13:00	昼 休	DVD上映（予定）
13:00～13:20	発表 ⑧	リモートによる安全教育研修の工夫事例 一 「対面で体感」を再現するために一 五洋建設(株) 安全品質環境本部 安全品質環境部 担当部長 中野 雅昭
(20分) コロナ禍で開催できなかった若手技術者を対象とした「対面で体感」する集合型の安全教育研修に代わる、WEB会議システムZoomを使用したリモート研修の工夫事例を紹介する。		
13:20～13:40	発表 ⑨	元請と協力会社が二人三脚で進める安全衛生管理活動 一 協力会社を活用した総合的安全衛生活動一 第一電機工業(株) 総務部 参与 安全担当 山下 誠
(20分) 弊社は、総合設備会社として約7割が元請負工事で、施工にあたる関係請負人は75%が従業員10名未満の小規模事業者であり、弊社の第一電機工業協会の組織を活用して弊社と関係請負人が二人三脚で安全衛生活動を展開、共に労働災害防止の取組を継続して実施する。		
13:40～14:00	発表 ⑩	オール松井によるMSHの推進!! 一 当社と協力会社が一体となった安全衛生強化活動一 松井建設(株) 建設本部 安全品質環境部 副部長 小室 将秀
(20分) 当社で働く全ての方々にとって、安全で安心な職場環境を形成するため、当社と協力会社が一体となったオール松井の体制で推進する『MSH（マッシュ）』『Matsui Safety & Health』を中心とした安全衛生活動を紹介します。		
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30	発表 ⑪	QRコード×Googleフォームを活用したヒューマンエラーの予測と指導 戸田建設(株) 千葉支店 建築工務部 上席主管 齊藤 英樹
(20分) 作業所では、様々な安全教育が行われているが、依然として作業員の不安全行動が多々見受けられる。その原因には、作業員一人ひとりの安全意識の問題以外に、社員が作業員の理解度を把握出来ていない事も原因ではないかと考えた。そこで、戸田建設(株) 千葉支店DXワーキンググループでは、安全教育をデジタル化させる第一歩として、【QRコード×Googleフォームを活用した ヒューマンエラーの予測と指導】を運用した。全体的な流れとしては、4つのステップから成り立っていて、このステップを踏むことにより、持続的な安全サイクルを実現することが出来る仕組みとなっている。		
14:30～14:50	発表 ⑫	大鉄KYTの取組みについて 一KY活動による労働災害発生の抑制に向けて一 大鉄工業(株) 北陸支店 安全推進部 主任 岡本 和大
(20分) 弊社では「大鉄KYT」という独自の現場KY活動を実践しています。これは、現場で実践する指差し呼称項目を作業員一人ひとりが自分で決め、自分で行動し、自分の安全は自分で確保するという取組みです。「大鉄KYT」を推進し、展開していくことで労働災害発生の抑制を図っています。		
14:50～15:10	発表 ⑬	「実行÷計画=1」の実現に向けて！ 一東急建設の「安全文化」!!一 東急建設(株) 安全環境本部 安全部 安全専門部長 根岸 徹
(20分) A-1. 各部門・部署が安全衛生計画を樹立する際は、 ①「元方事業者による建設現場安全管理指針」を基礎。 ② ①に災害原因、臨検状況、巡視結果等を加味した「施策・行動計画ガイドライン」を策定。 各部門・部署の安全衛生計画は、「施策・行動計画ガイドライン」を基本。 A-2. 計画のCheck・Actは、安全担当重役等が委員長の会で4半期毎に実施、PDCAを展開。 B. 入社25年次、30年次等の高年次研修を実施。 C. OJTを担う作業所長等への「コーチング講座」を実施。		
15:10～15:15	閉会挨拶	清水建設(株) 北陸支店 上席マネージャー 西村 芳博
15:15～15:30	休 憩	
15:30～16:30	講演	大雨や暑さから身を守るための気象講座 気象予報士・キャスター 井田 寛子

低層住宅部会

オンデマンド配信
10/11～11/14

8:45～ 開 場

9:00～9:10 開会挨拶 部会長 大和ハウス工業(株) 技術統括本部 安全部長 吉田 伸司

9:10～9:30 発表① **A-Skil(エースキル)「旭化成_施工計画_iPad_line」の開発**
(20分) **ーデジタル化による実効的な施工計画の立案を目指してー**

旭化成ホームズ(株) 施工本部 施工技術部 構造・外装グループ 川久保 俊彦

本論文は、施工計画書の立案及び作成システムの開発に関する取り組みを報告するものです。「変更の発生しない実効的な施工計画の立案」を目標に、旭化成ホームズ株式会社と応用技術株式会社で開発したA-Skil(エースキル)「旭化成_施工計画_iPad_line」の紹介と導入による効果、課題などについて報告させていただきます。

9:30～9:50 発表② **統合カメラ管理システム『D-Camera』による安全現場管理**
(20分) **ー未来の当社が目指す現場監理の姿ー**

大和ハウス工業(株) 本社 技術統括本部 建設DX推進部 主任技術者 小部 慶美

全国に顧客を持つ当社として、効率的に現場の状況を把握することは、現場からも本部からも高いニーズでした。当社は全現場に外部カメラを設置することにより、簡単に現場の状況を把握できる環境を構築することで、新しい管理業務を遂行できると考えています。色々の検証を通じて未来の建設現場のあり方を考えていきます。

9:50～10:10 発表③ **住宅現場における、手洗設備設置の効果と仕様の提案について**
(20分) **ーデモ設置、アンケートによる調査結果とその考察**

全国低層住宅労務安全協議会 じゅうたく小町部会 環境班リーダー 熊本 好美

全国低層住宅労務安全協議会 じゅうたく小町部会 キャリア班リーダー 根本 希美

全国低層住宅労務安全協議会じゅうたく小町部会では、コロナウイルス感染拡大等で重要視されている衛生管理の観点から、住宅現場ではあまり設置されなかった手洗設備の設置について、その有用性を検証した。部会所属の住宅建業社現場に手洗いシンク等のデモ設置を行い、アンケート調査とヒヤリング結果を分析し、住宅現場での手洗設備仕様について提案する。また、コロナ禍においても活発に実施した、部会の活動報告を行う。

10:10～10:20 休 憩

10:20～10:40 発表④ **『魅せる現場』の『見える安全』 一素屋根内の作業を誰が見ても安心して見学できる災害防止活動ー**
(20分) 清水建設(株) 東京支店 社寺建築・住宅部 工事長 谷 敏光

平城宮跡地として常時観光客が現場見学できる中での復元工事になります。その中で①大規模木造建方作業での墜落災害・倒壊災害の防止、②屋根勾配作業での滑落・墜落災害の防止、③夏季の素屋根内作業における熱中症防止、④コロナ感染防止対策、⑤木材を多く使用する中での火災防止の5項目について「見える安全」を得意先、作業員とともに計画実施してきました。

10:40～11:00 発表⑤ **熱中症災害撲滅に向けて 一職方の安全と健康を守る元方事業者の責任ー**
(20分) 住友林業(株) 住宅・建築事業本部 安全・環境・検査室 次長 宇田 章弘

当社の熱中症災害の状況として、2020年度は13件の災害が発生してしまい過去最高を記録した。職方の安全と健康を守る必要がある元方事業者の責任として撲滅するのが緊迫の課題となり、新たな視点で現状分析を行い、IoTやDXを駆使した施策を構築し実践することにより災害を撲滅する。

11:00～11:20 発表⑥ **低層住宅方式無記名ストレスチェックの発展**
(20分) **ーワークエンゲージメントの重要性とデジタル活用についてー**

大和ハウス工業南関東地区協力会 安全衛生環境部会 副部会長 小野 豊

2018年より継続的に実施している建災防方式無記名ストレスチェックについて、今までの結果と取り組み内容、そして2021年より開始したウェブアンケート方式を利用したストレスチェックについて紹介します。低層住宅現場ならではの課題や改善事例、現場展開方法を試行錯誤し、ウェブアンケート結果から見えた新たな課題に対して取り組みを実施した経緯をご紹介します。

10:10～10:20 休 憩

11:30～11:50 発表⑦ **低層住宅における現場災害防止と環境問題の取り組みについて**
(20分) ミドリ安全(株) 安全衛生相談室 室長 山本 多絵子

①高年齢労働者の労働災害が増加している中で、転倒防止・つまずき対策が必要になってきております。日本転倒予防学会の推奨品に登録されました安全靴のご案内。 ②高い耐切削性と接触冷感機能を持った腕力バー「カットガード腕力ブラック」をご紹介します。夏季の暑熱現場における熱中対策としての半袖作業着着用時における、「腕部分の切削防止効果+接触冷感機能」について説明いたします。 ③当社製(OEM含む)の、使用しなくなった安全帯をリサイクルいたします。マテリアリサイクル、ケミカルリサイクルを行い、排出する産業廃棄物を再資源化し、循環型社会に貢献いたします。

11:50～12:10 講 話 **石川県の建設業における労働災害の現状**
(20分) 厚生労働省 石川労働局 労働基準部 健康安全課長 宮野 廣之

石川県の建設業における労働災害の現状と令和4年度が最終年度となる第13次労働災害防止計画の進捗状況を踏まえ、労働災害を減少させ、安全で健康に働ける環境を作るための取り組み等について説明する。

12:10～13:00	昼 休	DVD上映(予定)
13:00～13:20	発表 ⑧	安全管理士が行う安全衛生支援事業について —安全管理士を活用しましょう— 建設業労働災害防止協会 技術管理部 長野県支部駐在 安全管理士 若林 茂樹
労働災害団体防止法により、労働災害防止協会には労働災害防止に関する技術的な事項を指導、援助する者として「安全管理士」が置かれることとされています。被災防では、現在、全国に13名の安全管理士が配置され、日々、それらの業務に当たっています。安全管理士は、それぞれが、長年にわたる安全衛生管理についての経験から専門的な知見を持っており、また、木造建築工事から、大規模な工事まで様々な種類の工事現場、零細な工務店から、スーパーゼネコンまであらゆる規模の事業者への指導、援助を行っており、それらの事業者が日頃実施している安全管理とは視点を変えた助言、指導が可能となっています。自社のみで行っている安全衛生対策がマンネリ化しているとお考えの事業者は、安全管理士の活用をぜひご検討ください。		
13:20～13:40	発表 ⑨	設立25年を超え、新時代(DX化)への道 —安全・衛生・環境等における電子化への取り組み— 大阪住宅安全衛生協議会 広報部会 部会長 川崎 雄司
コロナ禍の中、令和3年11月に大阪住宅安全衛生協議会も25周年式典を無事終え、令和4年(新時代)へと取り組みが大きく変わろうとしています。コロナ禍で加速する新しい時代に向けて、SGDsの積極的な取り組み、建設業の現場への導入を目指して、現場監督及び作業員の皆様によりわかりやすく、新時代の安全・衛生・環境問題を理解していただく資料の作成、内容の電子化(ペーパーレス化等)に向かって、IT技術を利用して管理して、作業員がより安全作業に徹していけるシステムづくりを目指し、構築し発表したいと思います。		
13:40～14:00	発表 ⑩	小規模現場における熱中症対策のための効果的な休憩所の取組みについて —遮光ネットを活用した休憩所— (株)イノベックス アグリソリューション部 小塚 宏昭 大和ハウス工業(株) 本社 技術統括本部 安全部連携グループ 嶋田 味穂
小規模の建設現場では休憩スペースを確保することが難しく外部作業員の熱中症への対策が必要となっていました。そこで小規模現場でも活用できる休憩スペースを検討するため、遮光ネットを使用した休憩所の試行を行いました。休憩所を試行した結果、WBGT値測定・効果検証・実際の作業員の声を取り入れた休憩スペースの提案を行うことができました。休憩所を設置した過程と内容について紹介いたします。		
10:10～10:20	休 憩	
14:10～14:30	発表 ⑪	住宅足場工事業を持続するために (株)ダイサン 安全管理部 部長 和田 誠一
建設業全般における過酷な労働環境、少子高齢化、3K等に加え、コロナ禍における職場でのコミュニケーション不足により、若手技能職の減少に歯止めが効かない状況である。当社では、その課題改善に向け、教育アカデミー、作業軽減の為にCAD作図、技能実習生の現地教育、足場甲子園の実施、IT技術の活用、技能職の社員化等実行しており、今後もその方針に変わりはない。しかし、当社単独では困難な課題も多々ある。現場環境の改善、天候等加味した猶予ある納期、安定した収入や将来性等、業界としての変革が必要と考える。若手技能職確保は、住宅業界の将来を左右するものであり、業界を上げた技能職の働き方改善と処遇の見直しを熟慮する。		
14:30～14:50	発表 ⑫	安全管理DX化による現場巡視問題の解決策について —非専任現場における安全管理DX化の試行・検証— 全国低層住宅労務安全協議会 安全パトロール部会 部会長 日吉 正喜 (株)スウェーデンハウス 全国低層住宅労務安全協議会 青年部会 副部会長 鈴木 基之 (株)ユニバーサルホーム
全国低層住宅労務安全協議会では、昨年「ウェアラブルカメラを利用した安全パトロール」について論文発表を行った。今回は更なる試行と検証の報告に加えて、各会員会社で採用されている様々なデジタル化の技術(デジタイゼーション(Digitization))の内、採用例の一部を紹介する。特に低層住宅現場に多い、現場代理人(元請の施工管理者)が複数抱える現場常駐を要しない「非専任現場」における労働負荷の低減と、災害発生抑制の為、「非専任現場現場における安全管理DX化」の試行・検証に視点を定め、安全衛生水準の低下を招かないことを条件に今後も現場の問題解決を推進する。		
14:50～15:10	発表 ⑬	内部足場の安全施工基準全国展開 —墜落・転落災害撲滅に向けて— 積水ハウス(株) 施工本部 品質安全推進部 課長 北野 新治
重篤化の恐れのある墜落・転落災害、外部足場に起因する災害は減少傾向にあるものの、繰り返される室内の吹き抜け空間での墜落・転落災害を撲滅すべく、「内部足場ワーキング」を立ち上げ、安心安全な使える内部足場の設置に向けて安全施工基準を定め、全国展開への活動をおこなった。		
15:10～15:15	閉会挨拶	副部会長 宏州建設(株) 代表取締役 山田 外志雄
15:15～15:30	休 憩	
15:30～16:30	講演	大雨や暑さから身を守るための気象講座※ 気象予報士・キャスター 井田 寛子

※井田氏の講演は安全衛生教育部会会場(石川県立音楽堂(コンサートホール))で行います。

8:45～ 開 場

9:00～9:10 開会挨拶 部会長 清水建設㈱ 安全環境本部 本部長 伊藤 勝啓

9:10～9:30 発表① ICT技術の導入による安全管理の取り組み ―安全に寄与した事例の紹介―
(20分) 鹿島建設㈱ 北陸支店 コマツ氷見第二工場 総合事務所新築工事事務所 所長 入山 豊

顧客の『省人化・生産性向上』に力点をおき、高精度・高性能な設備やAI技術を導入し、製品検査の自動化を協力を推進する」精神を受け継ぎ、ICT技術を取り入れた安全性向上・生産性向上の実践事例の紹介。

(1) クイックスマートコントラクション (2) 作業間調整システム (3) 3Dデータの活用

9:30～9:50 発表② 労務安全書類のピンチをチャンスに
(20分) ―コロナ禍 当社での試み『元請現場 WEBパトロール』―

三機工業㈱ 安全衛生推進室 安全衛生推進部 サイト支援グループ 主任 櫻井 真由美

「現場のことはすべて現場担当者が担うもの」という慣習を払拭するために、日頃から現場負荷の大きい、苦手意識の強い労務安全書類について、当社での取り組み事例を紹介している。働き方改革、コロナ禍での新しい生活様式、在宅ワークを考える今、円滑に現場運用をしていくための道標である。

9:50～10:10 発表③ BIMを活用した労働環境整備のフロントローディング
(20分) ―多面体形状建物のコンストラクションソリューション事例―

戸田建設㈱ 九州支店 戸田・松尾・中野・上滝建設共同体 SAGAサンライズパークアリーナ新築工事 建築主任 福田 里志

戸田建設㈱ 九州支店 戸田・松尾・中野・上滝建設共同体 SAGAサンライズパークアリーナ新築工事 建築主任 池上 浩平

多面体形状建物のコンストラクションソリューションとして、複雑な形状の鉄骨製作図をBIMを使用し、労働環境の整備、干渉部の確認、VRパトロールへの活用、進捗管理及びトラス計画等の「見える化」による安全性の向上を図り、作業員全員が「腹落ち」したうえでの作業に繋がった。

10:10～10:20 休 憩

10:20～10:40 発表④ BIM・ICTを活用した工事所管理
(20分) ―イメージの具現化と、みんなに届く安全管理―

㈱奥村組 西日本支社 NICT計算機棟工事所 建築主任 中川 英臣

近年、建設業でICTを活用し業務効率化を図る動きがある。その活用をより現場に取り入れ、関係者の合意形成を行い安全や品質の向上、一致団結を図ることが目的である。今回の発表は当工事所で実際にBIMを活用し安全に結びついた現場管理事例を発表する。ICTを活用することで工程や年齢、国籍隔てなくコミュニケーションを取り安全管理の向上が図れた。

10:40～11:00 発表⑤ デジタル技術を利用した安全対策の取組み
(20分) ―見える化、音声化による安全対策、安全意識向上―

㈱吉光組 専務取締役 道 勇治

webカメラ、小型移動式カメラ、ダンプトラック運行管理等のデジタル技術を利用した「見える化、音声化」による安全対策、安全意識向上対策を実践した国交省直轄工事現場の様子を示した。全社的な水平展開する際のクラウド情報共有や新技術採用の状況も示した。

11:00～11:20 発表⑥ 市街地における大規模再開発建設工事の安全管理に関する報告
(20分) ―ICT活用による「生産性向上」から「安全性向上」へ―

大成建設㈱ 札幌支店 北8西1地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事 大成建設伊藤組土建・タツカム共同企業体 作業所長 島津 幸二

ICT技術の活用や各工種において当たり前の様に実施されてきた作業について、作業自体を無くす、無くせなければ現場作業を減らす、そんな視点に立つことで、事故発生リスクを低減させる考え方の実践により安全な作業環境の構築を目指した取組についての報告である。労働者不足や高齢化に対する対策も同時に行いつつ、カーボンニュートラルを意識した環境配慮型の取組にも繋がっている。ここでの取組がより少数で、より安全で、今までと同等以上の品質や工程確保に貢献できるものとなることを最終的な目標としての取組である。

11:20～11:30 休 憩

11:30～11:50 発表⑦ 下水管築造工事の安全対策について
(20分) 戸田建設㈱ 東北支店 土木工事1部工事室 作業所長 河原 寛明

当現場は、切羽における異常出水やセグメントの崩壊、バッテリー口コとの接触による労働災害の発生が懸念されるシールドトンネル工事がある。また、バックホウやクレーンなどが常に稼働しており、セグメントや裏込材、掘削汚泥、コンクリート等の搬出入車両が多く出入りする。そこで、「ICT技術活用」、「安全の見える化」、「快適職場」を主眼とし、本工事で取り組んだ対策を紹介する。

11:50～12:10 (20分)	発表 ⑧	機械化による安全性向上 —未来の建設機械災害ゼロを目指して 清水建設㈱ 広島支店 松江営業所 木村 翔
ホテルー畑計画では、同一敷地内で新築・改修・解体を行った地方ではあまり例のない工事であった。本稿では、クレーンやバックホウといった建設機械を使う工事に注目し、機械を使用しで安全性向上を図った事例について報告する。		
12:10～13:00	昼 休	DVD上映 (予定)
13:00～13:40 (40分)	講話	建設現場のDXに向けた国土交通省の取り組み 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 施工安全企画室長 森川 博邦
13:40～14:00 (20分)	発表 ⑨	ICT活用で変わる現場の安全管理 —安全で魅力ある建設業に向けて— 真柄建設㈱ 北陸土木事業部 工事長 池田 秀弘
本工事は、手取川左岸堤防道路改修を目的とした河川工事であり、工事の進捗と共に日々形状が変化し、常に建設機械が混在し、独自に作業するため重機災害の安全管理が課題であったが、安全かつ効率よく工事を進めることができたので実施内容について報告する。丁張の設置が困難、重機の接触事故等が考えられたが、ICT技術を活用することで業務の効率化を図り安全に工事を完成することができた。		
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30 (20分)	発表 ⑩	遠隔管理システムを活用したリモート型安全管理 —コロナ禍における在宅環境下での現場安全管理への挑戦— 清水建設㈱ 土木東京支店 工事長 佐竹 省胤
建設業界においてもテレワークが求められる中、ICTを活用した遠隔管理システムを導入することでリモート安全管理を可能とした。このシステムで巡回し安全の指摘や、時系列画像比較、BIMモデルとの比較、携帯LiDAR機能による安全管理など様々なことを実施した。		
14:30～14:50 (20分)	発表 ⑪	トンネル工事におけるデジタルツールを活用した安全対策 —少子高齢化社会を見据えて— 三井住友建設㈱ 四国支店 三井住友・田邊・山本・鍋島特定建設工事共同企業体 和田トンネル作業所 所長 仲 哲路
我が国は少子高齢化社会を迎え、「熟練技術者・技能者不足」「働き方改革への対応」が喫緊の課題となっている。上記の社会的課題解決を目的とし、坑内作業における安全管理として、デジタルツールを活用した下記4項目を立案実施した。 (1) AI(人工知能)を活用した安全注意喚起システムの導入 (2) 坑内全線Wi-Fi通信設備の完備とデジタルサイネージを用いたトンネル内情報伝達の効率化 (3) アクティブICタグを利用した無線式重機接近警報装置の使用 (4) オンラインによる安全衛生協議会の開催		
14:50～15:10 (20分)	発表 ⑫	被災地におけるデジタルツインを活用した安全管理 —令和3年度逢初川水系応急対策工事— 大成建設㈱ 逢初川災害対策工事 作業所長 佐々木 俊伸
デジタルツインを活用した安全管理として工事関係者の判断や安全性・生産性を支援するため、いつでも・どこでも・だれでも・簡単にスマートフォンやタブレット等から工事全体をリアルタイムに把握できる当社開発の現場管理システム「T-Digital Field」を導入した。このシステムの中から安全対策を強化するため「カメラビュー」アプリ、「重機・人等位置管理」アプリを使用することとした。「カメラビュー」アプリは、通常の安全管理に幅広く活用できるほか、土砂災害等発生時の現場状況の確認にも使用できる。「重機・人等位置管理」アプリは、リアルタイムに作業時の位置や稼働状況のデジタルツインを形成することができ、土砂災害等発生時に全職員・作業員の退避状況の確認に使用できる。安全意識の向上として「避難設備の整備、避難訓練」を実施した。被災地での避難を迅速・安全にできるよう、被災地での工事であることを認識できるように工夫した内容で避難訓練を実施した。		
15:10～15:15	閉会挨拶	副部会長 大成建設㈱ 安全本部 労務部 建設パートナー推進室長 浅野 健一郎
15:15～15:30	休 憩	
15:30～16:30	講演	大雨や暑さから身を守るための気象講座* 気象予報士・キャスター 井田 寛子

※井田氏の講演は安全衛生教育部会会場(石川県立音楽堂(コンサートホール))で行います。

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会顧問 東急ジオックス㈱ 代表取締役社長 諏訪 嘉彦
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	コミュニケーションを基にした生産性向上と災害発生リスク低減への取組み —DXとWLB向上による施工管理・環境改善活動— ㈱竹中工務店 神戸支店 森本倉庫六甲アイランド冷蔵倉庫新築工事作業所 作業所長 和田 昌巳 2020年度末に建物を竣工し、「最良のスマート冷蔵倉庫を創る」と云うお客様の想いの実現のため安全・環境に十分配慮した施工管理・環境改善活動を行った。また、コロナ禍という非常事態の中、労務職の不足や少人数での施工管理体制に対応すべく、コミュニケーション向上を基にして、DXを行いWLBを向上させる事で、生産性向上と災害発生リスク低減に取組んだ。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	誰もが安心して働ける快適な職場環境についての取組み —自分の体と心と向き合い健康で長く働くために— 大成建設㈱ 東京支店 安全環境推進室 課長代理 今成 誠次 大成建設㈱東京支店建築部管内にて実施した、誰もが安心して長く働くことができるために行った取り組みの紹介です。社会的にも少子高齢化へ向け少しでも長く、健康な体で働けるように「自分の体と向き合う」「仲間を守る」観点から取り組んだ内容です。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	作業員が安全に安心して働ける魅力ある現場環境を目指して —ITツール活用による安全の『見える化』と+αの安全衛生活動事例— 鹿島建設㈱ 関西支店 JCRファーマ神戸工事事務所 所長 仲田 雅洋 現場運営における私の基本方針でもある『現場は作業員が主役であり、作業員が安全かつ安心に働ける快適な現場環境をつくる』ことを目指し、鹿島と職長会が想いをつづけて取り組んできたITツールを活用した作業員に対する安全&環境ルールの『見える化』や様々な+αの安全衛生管理活動事例紹介
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	無記名ストレスチェックと新ヒヤリハット報告の関係について —「健康リスク」と「ワーク・エンゲイジメント」「レジリエンス」— 日本国土開発㈱ 安全品質環境本部 安全品質環境部 担当課長 椎野 暢朗 当社は無記名ストレスチェックをNEW COHSMSに対応した労働安全衛生マネジメントシステムに取り入れ職場環境改善に取り組んでいます。本論文では現場で実際に行った無記名ストレスチェックと新ヒヤリハット報告から、健康リスクやワーク・エンゲイジメント等の比較を行い、その関係について紹介します。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	新ヒヤリハット報告導入による改善経過 —私たちのSAFETY1、SAFETY2とは何か— 東急建設㈱ 東日本土木支店 安全環境部長 沓澤 利明 新ヒヤリハット報告をいち早く実践した作業所があり、その結果を検証し今後の運用を考えることとした。新ヒヤリハット報告は作業員自らの危険認識度を高め、事例から学ぶことを通じ作業行動の改善等ができる、有効な安全衛生活動であると結論付けた。
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	新ヒヤリハット報告を活用した新たな視点による山梨県支部の取組み —ヒューマンエラーによる災害を防ぐグッドリカバリー健康KYの展開— 建設業労働災害防止協会 山梨県支部 部長 山本 憲一 「新ヒヤリハット報告」活用マニュアルにより山梨県内のデータを分析し、日々のKY活動にグッドリカバリーを組み入れた「グッドリカバリー健康KY活動」を試行する等レジリエンス能力の向上に向け、働く者の命を懸けた魅力ある安全衛生管理活動を目指す。
11:20～11:30	休 憩	
11:30～12:10 (40分)	講 演	建設業におけるメンタルヘルス対策の普及と定着に向けて —SAFETY IからSAFETY IIへ進化する建設安全の取り組むべき課題— 東急ジオックス㈱ 代表取締役社長 「建設業におけるメンタルヘルス対策のあり方に関する検討委員会」 元委員 諏訪 嘉彦 労働安全衛生法が改正され2015年以降一定規模以上の事業所でストレスチェックが義務化された。建災防本部ではこれに呼応し、統括管理下における建設現場での取り組みについて「建設業におけるメンタルヘルス対策のあり方に関する検討委員会」を設置し、6年に渡る活動を行い「建災防方式健康KYと無記名ストレスチェック」及び「新ヒヤリハット報告」を成果として本年3月委員会活動を終えた。筆者は本委員会に6年間委員として参加した。本稿はその経過をまとめるとともに労働災害の一層の減少に向けた新たな視点であるレジリエンスエンジニアリングに基づくSafety IからSafety IIへの展開を踏まえ、メンタルヘルス対策の普及と定着について提言するものである。

12:10～13:00	昼 休	DVD上映（予定）
13:00～13:20	発表 ⑦	新ヒヤリハット報告を活用した災害撲滅への取り組み —実際の情報入手とその展開— 大和ハウス工業(株) 本社 技術統括本部 安全部 日下 淳子 これまでの災害撲滅へ向け様々な取り組みを行ってまいりましたが、令和3年度より、もう一歩踏み込んだ取り組みとして新ヒヤリハット報告を活用し、災害撲滅への一助として行くべくスタートしました。まずは建災防方式をベースとしてフォームスを活用した仕組みを策定作成しました。次に、指導する側の私たち安全部スタッフの認識度の改善です。そこから地区別に工事担当者への教育、そして協力会社への周知、という手順にて展開していきました。現在、回収が始まって半年程度ではありますが全国で一萬五千件程度の回収状況です。その集まったデータから分析を開始したところです。今後も情報の蓄積を進め、より身近な課題ととらえられるように推進していきたいと思います。
13:20～13:40	発表 ⑧	日本一『働きやすく安全』な作業環境に向けた取り組み 戸田建設(株) 東京支店 建築工事部建築工事3部工事1室 工事長 増田 和典 東京駅前の立地で高さ212mからなる超高層ビルの建設現場（東京駅前常盤橋作業所）において、日本一働きやすく安全な作業所を目指し、作業員入退場管理や朝礼・TBM、新規入場者教育、災害防止活動、現場独自のルール、職長会活動、行事・イベント、施設関係など各々取組んだ実例を紹介する。
13:40～14:00	発表 ⑨	作業所・協力会社・内勤部門三位一体になっての安全管理 —建築主の想いを形に一人ひとりが“気づき”を感じる安全意識の向上と継続— (株)竹中工務店 真澄寺金沢別院作業所 作業所長 笹島 裕一 建築主想いを受け、作業所長の方針を明確に方向性を示し、職長会（リーダー会）、内勤関連部門と連携した安全活動を展開した。具体的な4つの方策についての報告 ①所長の想いを共有・共感する ②当事者意識を持ち、自主性と一体感を具体化する職長会活動 ③見える化によるマナーリ化を防止した安全管理 ④『気づき』を重視した安全の目線合わせによる安全管理
14:00～14:10	休 憩	
14:10～14:30	発表 ⑩	現場環境改善と気づきの時間 —教えるから考えさせる— (株)松本組 常務取締役 坪谷 広之 建設現場で働く作業員のための職場環境改善の必要不可欠な条件は、作業員の心身の健康です。無記名ストレスチェックで作業員のストレス程度を評価し、「ひと」に起因するヒューマンエラーや不安全行動の防止対策を現場に展開し、作業員に気づかせる安全衛生対策を提案しました。
14:30～14:50	発表 ⑪	ヒヤリハット報告の現状 —極める— 建設業労働災害防止協会 石川支部 安全指導者、講師、労働安全コンサルタント 森國 健次 はじめに、労働災害の推移と安全衛生対策状況と、自身の大手建設会社での安全環境部長としての思いを踏まえ、災害発生のシナリオの中で、Safety-IからSafety-IIへの注目とレジリエンス能力の必要性を述べるメンタルヘルス対策から新ヒヤリハット報告への取り組みも必要性に注目し「新ヒヤリハット報告」活用マニュアルを使用しての調査状況の研究報告。安全衛生活動の改善成果を極めてもらいたい。
14:50～15:10	発表 ⑫	作業員の健康管理と新しい現場運営方法について —withコロナ時代の現場運営手法— 清水建設(株) 東北支店 土木部 盛岡南公園野球場作業所 現場係員 渡井口 清隆 昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、現場の一時事業継続中止や出社制限等の対応をとった組織が散見されたことから、当現場で取り組んだ「現場にウイルスを持ち込まない取組み」「新しい作業所スタイル」「事務所内のリスク回避」方法を報告する。
15:10～15:15	閉会挨拶	部会顧問 東急ジオックス(株) 代表取締役社長 諏訪 嘉彦
15:15～15:30	休 憩	
15:30～16:30	講演	大雨や暑さから身を守るための気象講座* 気象予報士・キャスター 井田 寛子

※井田氏の講演は安全衛生教育部会会場（石川県立音楽堂（コンサートホール））で行います。

8:45～	開 場	
9:00～9:10	開会挨拶	部会顧問 (株)熊谷組 安全品質環境本部 安全推進部 担当 部長 八木 幹夫
9:10～9:30 (20分)	発 表 ①	COHSMSを活用した安全衛生管理への転換 —COHSMSの取組みをスタートとして— 松本建設(株) 安全環境部長 小川 修世 松本建設の概要説明をはじめ、COHSMSの構築、安全衛生管理計画、化学物質リスクアセスメント、パトロール、おわりに等、私が安全衛生管理について経験してきたことを説明いたします。
9:30～9:50 (20分)	発 表 ②	安全衛生水準向上の意識改革を目的としたシステム教育強化の取組 —平面的なPDCAサイクルから立体的なCAPDサイクルのスパイラルアップへ— 東急建設(株) 安全環境本部 安全部 長田 貴則 コスモス認定取得から10年が経ち、マネジメントシステムは定着してきた。しかしマネジメントシステムの形骸化が散見されることからその防止対策として「システム監査評価者の能力強化」と「システム教育強化」について実施した内容を報告するものである。
9:50～10:10 (20分)	発 表 ③	多工種・広範囲な現場のマネジメントと安全管理 —NEXCO西日本 大規模更新工事における施工報告— (株)熊谷組 中四国支店 土木部 工事部長 原田 雅弘 NEXCO西日本が推進する「高速道路リニューアルプロジェクト」の中で、異種工種の組合せによる大規模更新工事にJVとして参加、土木工事、PC橋上部工、鋼橋上部工それぞれに得意分野を持つ業者の異業種JVを構成した。お互い補完しながら、一体となって行った、他工種・広範囲な現場の運営、安全管理について改善を図り、マネジメント・安全管理体制の整備の重要性を取り纏めた。
10:10～10:20	休 憩	
10:20～10:40 (20分)	発 表 ④	日本無線の建設業における安全衛生管理水準向上への取り組み —「背中を見せて育てる」文化から明文化と仕組化を通じたD&Iな文化へ— 日本無線(株) 上野治仁、福山亜希子、武田順子、石村まさみ、國吉規子、本多順子 製造メーカーの中で建設業を担う部門の安全衛生管理体制を確立するため、人に頼った属人的な労働安全衛生管理から脱却し、明文化仕組化による労働安全衛生管理への移行にダイバーシティ&インクルージョンを活用した取組み活動を報告するもの。
10:40～11:00 (20分)	発 表 ⑤	COHSMSの取組み事例について —システムの継続的、段階的向上を図る— 砺波工業(株) 総務部 安全品質環境課 システム管理責任者・安全管理者 薮下 仁 事業主(社長)の参画/システム(安全)教育の実施/安全衛生上の課題の抽出/NEWCOHSMSへの取組み/安全衛生管理計画/緊急事態、労働災害・事故への対応/システムの改善
11:00～11:20 (20分)	発 表 ⑥	コスモス運用における若手職員育成への取り組み —安全衛生管理の能力向上にむけた対話方式による指導方法— 五洋建設(株) 中国支店 安全品質環境部 担当部長 奥田 伊知郎 作業所若手職員に対し、コスモス運用におけるリスクアセスメントについて理解を深め、専門工事業者へ適切に指導できるよう店社パトロール時に対話方式による「情報の伝達」・「作業所における実地教育(模擬訓練)」を行い、安全衛生管理の能力向上を図った。
11:20～11:40 (20分)	発 表 ⑦	東レ建設が挑む「T-OSHMSを軸とした安全衛生活動」の実践 —東レ建設が独自に取り組む形骸化防止策の紹介～規律と楽しさの両立～— 東レ建設(株) 東京安全環境課 課長 川上 浩 COHSMS認証を受けて10年以上が経ち、安定的な安全衛生活動に取り組む中、やらされ感からなる形骸化を防止するため、次なるステップアップとして、規律ある職場形成と職場を楽しく快適に働ける環境づくりの両立を目指した取り組みを紹介いたします。 【規 律】 社員による職場への問題意識の深堀と自己解決に向けた討議式教育の実践。 「安全に関する話し込み教育」、「みどり本」を有効活用して社内ルールを遵守 「みどり本」：東レ建設労働安全衛生マネジメント実施手順書 【楽しさ】 働き方改革による業務の効率化を目指した帳票類のITツール活用事例。
11:40～11:45	開会挨拶	建設業労働災害防止協会 事業部長 小笠原 清美
12:30～	コスモス認定事業場交流会(ANAクラウンプラザホテル金沢 瑞雲)	※参加は事前に登録されたコスモス認定事業場に限りです。

第59回 全国建設業労働災害防止大会 in 金沢

安全衛生保護具
測定機器・安全標識等

展示会

2022年

10月6日(木) いしかわ総合スポーツセンター 10:30~17:00

10月7日(金) もてなしドーム地下イベント広場 8:30~15:30

主催：建設業労働災害防止協連会



出展企業	主な取扱品目
アサヒ産業(株)	ミニリフト、マルチGRID、床付き布わく、スキママッチ、ミレニウム
アゼアス(株)	化学防護服、集じん・排気装置、感染症対策空気清浄機・簡易陰圧機等
(株)アドバンス	O.R.Sタブレット(経口補水液タブレット)
アトム(株)	振動軽減手袋、耐切削手袋、緩衝手袋
(株)エレメント・プランニング	ポスター、小冊子、シール、テキスト
大塚製薬(株)	ボカリスエット、ボディメントドリンク、OS-1
(株)ガステック	検知管式気体測定器、各種ガス警報計
(株)キッズウェイ	CCUS、グリーンサイト連携対応、顔認証システム
キョーワ(株)	建設用仮設資材、腹起し支柱システム、黒探光防音シート、注意喚起資材(イエローネット)等
(株)建設安全研究会	安全教育用視聴覚教材
興研(株)	防じんマスク、PAPR、防毒マスク、暑熱対策製品
光明理化学工業(株)	北川式ガス検知管、産業用ガス検知警報器
サンコー(株)	墜落制止用器具
ジー・オー・ピー(株)	アルミ製段差解消スロープ、移動式室内足場、他
(株)重松製作所	防じん・防毒マスク、電動ファン付き呼吸用保護具等
島屋建設(株)	遠赤外線式融雪装置(単相200Vタイプ)
(株)シモン	安全靴、ブロスニーカー、作業用手袋、安全衛生保護具他
新コスモス電機(株)	携帯用ガス検知器、酸素濃度計
スリーエム ジャパン(株)	墜落制止用製品(フルハーネス・ランヤード・アンカーなど)

VR出展企業	VR内容
(株)積木製作	安全体感VRトレーニング
ミドリ安全(株)	VR RIMM(安全教育用VRコンテンツ)

出展企業	主な取扱品目
セーフィー(株)	クラウド録画サービス、ウェアラブルクラウドカメラSafie Pocket2(セーフィーポケットツ)、LTE搭載クラウド型防犯カメラSafie GO(セーフィーゴー)
(株)仙台銘板	安全保安用品全般・情報化施工関連商品・イベント関連商品・NEXCO関連商品・VR安全教育商品・環境情報表示システム関連商品
(株)大同機械	台車、作業台等、仮設材のレンタル・販売、仮設間仕切りの簡易設置工事、オリジナル機械開発・制作・加工・販売
(株)谷沢製作所	保護帽、墜落制止用器具 等
(株)つくし工房	安全標識各種・安全掲示板用サインシート・現場カシメス・安全教育VR 他
(株)日本コンサルタントグループ	クラウド型 建設業安全衛生教育システム・オリジナル安全衛生動画の制作・建設業のメンタルヘルス教育
日本スピードショア(株)	土砂遮断装置「スピードガード」、水圧式スプリンクラー内蔵四方張り土留「マンホール土留」
(株)ハタヤリミテッド	コードリール、照明機器等
(株)ピカコーボレイション	アルミ仮設機材、可搬式作業台、観網支柱、台車、昇降作業台等
藤井電工(株)	墜落制止用器具及び墜落防止器具
(株)ブロッブ	暑さ対策商品、墜落制止用器具、人体用エアバグ
みぞた巧芸(株)	安全旗、社旗、タレ幕、ココ幕、シート、腕章、胸章、ステッカー等
ミドリ安全(株)	墜落制止用器具、安全靴、ユニフォーム、ヘルメット、作業手袋、熱中対策商品等
(株)メルシー	健康管理機器(フットケア機器)
山本光学(株)	保護めがね、電動ファン付き呼吸用保護具、使い捨て式防じんマスク、遮光保護具
ユニット(株)	安全標識、用品
(株)理研オブテック	保護めがね、ゴーグル、遮光めがね、防災面
理研計器(株)	ポータブルガスマニター、酸素モニター、VOCモニター等

出展団体	主な取扱品目
(一社)仮設工業会	タッチパネル、テレビ、仮設機材、上映ムービー
(一社)全国建設業労働災害互助会	補償制度事業及び労働福祉事業
(一社)日本ガス協会	ガス管損傷事故防止PRツール、ガス事故防止DVD

現地での受付方法のご案内

初日受付

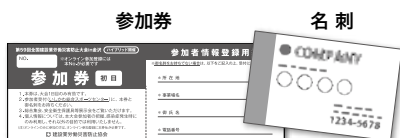
いしかわ総合スポーツセンター
10時30分～

2日目受付

もてなしドーム地下イベント広場
(JR金沢駅兼六園口(東口)地下)
8時30分～

STEP1

初日参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出してください。



初日

2日目参加券に名刺を1枚添えて、「参加者受付」に提出してください。



2日目

※名刺をお持ちでない場合には、参加券にお名前等をご記入いただき、提出してください。

STEP2

参加証を受け取ってください。来場中は参加証を首から下げてください。
(参加証は初日、2日目で異なります。)



STEP3

資料は資料引換券を会場の「資料引換所」に提出し、受け取ってください。
(資料は初日、2日目ともに共通です。)



(※イラストはイメージです。)

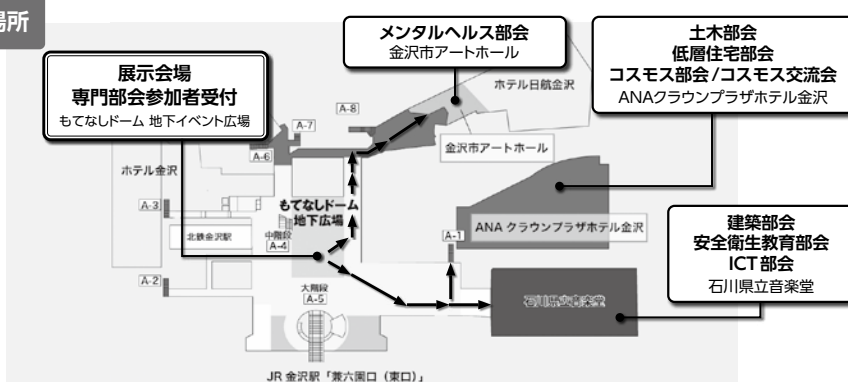
初日受付場所

いしかわ総合スポーツセンター
1F



2日目受付場所

もてなしドーム
地下イベント広場
B1F



会場のご案内

初日

①いしかわ総合スポーツセンター

JR 金沢駅より無料シャトルバス運行 約20分
石川県金沢市稚日野町北222番地

●総合集会 ●展示会 ※一般車両の駐車は指定駐車場をご利用ください。(無料)詳細は建災防ホームページをご確認ください。

2日目

②石川県立音楽堂

JR 金沢駅兼六園口(東口)より徒歩1分
石川県金沢市昭和町20-1

●専門部会 +建築部会 +安全衛生教育部会 +ICT部会

④金沢市アートホール

JR 金沢駅兼六園口(東口)より徒歩3分
石川県金沢市本町2丁目15番1号

●専門部会 +メンタルヘルス部会

③ANAクラウンプラザホテル金沢

JR 金沢駅兼六園口(東口)より徒歩1分
石川県金沢市昭和町16番-3

●専門部会 +土木部会 +低層住宅部会 +コスモス部会
+コスモス交流会(関係者限り)

⑤もてなしドーム地下イベント広場

JR 金沢駅兼六園口(東口)より徒歩1分

●展示会

●2日目専門部会参加者受付 ※2日目の参加者はこちらで受付します。



無料シャトルバス運行のご案内

「JR 金沢駅西口」から「いしかわ総合スポーツセンター」間で無料シャトルバスを運行いたします。

※所要時間や発車・到着時間は、交通道路状況により遅れが生じる場合があります。

※席数には限りがあります。満員によりご乗車いただけない可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※詳しい運行計画は建災防ホームページに掲載いたします。

※乗降場所等は変更になることがありますので、現地案内等をご確認ください。

10月6日(木) ※大会初日「総合集会」開催日

【往路】「JR 金沢駅金沢港(西口)」発
→「いしかわ総合スポーツセンター」行き

○運行時間 午前10時10分～午後15時00分の間

○所要時間 約20分

【復路】「いしかわ総合スポーツセンター」発
→「JR 金沢駅金沢港(西口)」行き

○運行時間 午後16時30分～午後18時00分の間

○所要時間 約20分



オンライン参加方法

現地に参加される方へ

オンライン参加方法を大会当日にご案内いたしますので、本申込みは不要です。

①参加券の購入（建災防支部または本部）



②建災防ホームページ上のオンライン参加申込みページから、メールアドレスを登録する。



③登録したメールアドレスへ自動で申込みフォームが送信される。
申込みフォームに参加者情報を入力する。

※入力の際は必ず参加券をお手元にご用意ください。参加券に記載の4桁の番号が必要です。



④申込受付完了で、オンライン視聴用ユーザー名とパスワードが記載されたメールが自動配信され、登録が完了となる。



参加券申し込みのご案内

申込方法

最寄りの都道府県支部または本部に詳細をご確認のうえ、以下の「参加券申込書」に必要事項をご記入いただき、参加券代を添えてお申し込みください。

参加券申込書は建災防本部ホームページよりダウンロードできます。(https://www.kensaibou.or.jp)

参加券（現地参加・オンライン参加共通）

8,500円（税込） ※参加券は初日参加券・2日目参加券・資料引換券がセットになっております。

参加券申込書

参加費合計：金	円	名分
事業場名：	※どちらかを○で開んでください 会員 ・ 非会員	
所在地：		
所属部署：		
代表者氏名：	TEL：	

令和4年 月 日
建設業労働災害防止協会

支部・本部 御中

女性にもやさしい ゴグル

NEW ゴグル
RC-01 シリーズ

曇りに強い



株式会社 理研オプテック

<https://rikenoptech.com>

やっぱりこれだ

溶接で人気の 1005シリーズ

溶接作業に適した3つの特長

- 1 溶接面と好相性のデザイン
- 2 負担の少ない軽量設計
- 3 オゾン臭の除去にKBCフィルタ併用可能



指定防護係数10

溶接のベーシックモデル
防じんマスク

1005RR

指定防護係数14

溶接で多くの実績がある
電動ファン付き呼吸用保護具

BL-1005

指定防護係数33

溶接向け電動ファン付き
呼吸用保護具の上位モデル

BL-7005

NEW

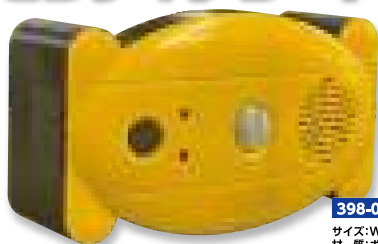
クリーン、ヘルス、セーフティで社会に

興研株式会社

〒102-8459 東京都千代田区四番町7
TEL.03-5276-1911 (大代表)

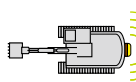
作業員に重機への接近を音声で警告して接触事故を防ぐ

セフティアラート **NEW**



398-05

サイズ:W200×D82×H120mm
材 質:ポリカーボネート



作業員の接近を
センサーで感知して
音声で警告



カタログのご請求・最寄りの代理店については、下記フリーダイヤルにてお問い合わせ下さい。



安全と快適環境をトータルでコーディネートする
UNIT ユニット株式会社

●営業部 / 〒173-0004 東京都板橋区板橋2-3-20
TEL.03-0120-490336 FAX.03-0120-490173
E-mailでも承ります。sien@unit-signs.co.jp

●営業所 / 第2・城北・城南・城東・札幌・仙台・郡山・北陸・群馬・茨城・埼玉・千葉・西東京・横浜・平塚・静岡・京都・大阪北・大阪南・神戸・広島・福岡

墜落制止用器具の規格適合品

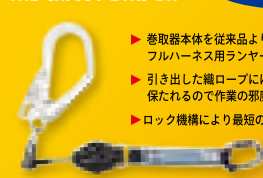


レヴォハーネス TH-508-OT

- ▶ 背中X型、腿部V型ベルトで墜落制止時の身体保持性に優れたフルハーネス。
- ▶ ベルト表裏で色が変わっているため装着時にねじれが判別しやすい。
- ▶ 腰部のベルト交差部が可動式なので身体の動きにベルトが追従して突っ張りません。
- ▶ 墜落制止時には骨盤ベルトがお尻を包み込むように支え、救助までの持久時間が向上します。

コルトリトラ THL-CR93SV-21KS-BK

- ▶ 巻取器本体を従来品より約35%軽量化したフルハーネス用ランヤード。
- ▶ 引き出した繊維ロープには常時巻取り力がかかり短く保たれるので作業の邪魔になりません。
- ▶ ロック機構により最短の落下距離で停止します。



Safety is Love
TSUYORON



FUJII-DENKO

<https://www.fujii-denko.co.jp>

本社 〒679-0295 兵庫県加東市上滝野 1573-2

商品についてのお問い合わせは

TEL.0795-48-3851 (営業部)

9:00~17:00 / 月~金 (弊社指定休業日は除く)

▼ ホームページ



▼ YouTube



**石綿対策を
トータルサポート!**

「石綿処理機材
マニュアル」
をご用意しています。

集じん・排気装置 **AT-2000 Pro**



本体重量
約57kg

※フィルタは別売りです

**アルミ製ボディで
より軽量に!**

溶接仕上げによる改良モデル!

デュポン™タイベック®
ソフトウェアⅢ型

**JIS T 8115 : 2015
タイプ 5 適合**
浮遊固体粉じん
防護用密閉服

デュポン®, タイベック® は米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。

アゼアス株式会社 www.azearth.co.jp

本社 〒111-8623 東京都台東区蔵前 4-13-7
TEL. 03-3861-3537 / FAX. 03-3861-2485

※ 1

世界最小



※1 ロック装置付き巻取器 2021年9月現在 当社調べ

国内最軽量^{※2}

シングル
約 700g



ダブル
約 1,280g



フルハーネス型 / 胸ベルト型 兼用
巻取式 タイプ 1 ランヤード **REELOCK mini**

※2 ロック装置付き巻取式 タイプ 1 ランヤード 2021年9月現在 当社調べ

TITAN
「墜落制止器具の規格」適合



Special site

サンコー株式会社 <http://www.sanko-titan.co.jp>

本社・本社工場 〒532-0035 大阪府大阪市淀川区新高1丁目14番7号 TEL.06-6394-3541

YK YAMAMOTO



安全をつくる 快適でささえる

Comfortable safety

1911年の創業以来、100年以上にわたり「YAMAMOTO」に受け継がれてきたのは、
働く人々の「安全と健康」を護るという使命。
「安全」は「快適」という次のステージへ。地道で小さな一歩を積み重ねることが、次の100年への近道。
快適創造企業の実現を目指して、YAMAMOTOは歩み続けます。

110th
Anniversary
おかげさまで山本光学は
2021年11月で創業110年

山本光学株式会社
セフティ＆レーザー・オプト事業部
<https://www.yamamoto-kogaku.co.jp/safety/>
E-mail: yk.yamamoto@contact.yamamoto-kogaku.co.jp
本社 / 06-6783-1101 東京支店 / 03-3868-5503



**挑戦的な
真価ある進化**

Made in JAPAN プロスニーカー

8900 Series

8911 ブラック

規格: JSAA 規格 A 種 運動用品 人工皮革製 (付加的性能: かかと部の衝撃エネルギー吸収性、耐滑性)
甲底: 人工皮革+ダブルラッセルメッシュ | 先芯: ワイド ACM 樹脂先芯 | 製造: 免洗ポリウレタン 2 層底
標準重量 (26.0cm / 両足): 720g



Simon
株式会社 シモン

本社 〒103-0025
東京都中央区日本橋茅場町 3-3-1
<https://www.simon.co.jp/>

●製品に関するお問い合わせ先
弊社 HP のお問い合わせフォームにて
承っております。
下記 URL、または QR コードより
アクセスしてください。
<https://www.simon.co.jp/contact>

※通信料はお客様のご負担となります。

